

大阪工業大学における教育の理念と方針

大阪工業大学は、1922年（大正11年）に創設された関西工学専修学校を前身とします。当時、大阪は急速な都市化が進む一方、その基盤整備を支える技術者が不足していました。創設者たちは、現場で活躍できる人材の育成に情熱を燃やし、次のとおり「建学の精神」を掲げ、関西工学専修学校を設立しました。

建学の精神

世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する。

「建学の精神」は、今日においても大阪工業大学の教育の根源です。
その精神を継承し、時代の変遷を踏まえた「教育の理念」と「教育の方針」を定めています。

教育の理念

社会・時代の要請に応え、専門学術の基礎と実践的応用力を身に付けるとともに、広い視野と豊かな人間性を涵養し、新しい知的・技術的創造を目指す開拓者精神にあふれた専門職業人を育成する。

教育の方針

1. 広い視野を持った確かな人間力の涵養
2. 個性・自主自律性の発揮と協調性の修得
3. 準備教育・導入基礎教育などの実施
4. 論理的思考能力と情報表現・伝達能力の養成
5. チームワークの重視とリーダーシップの発揮
6. 学生と教員との協働による授業の改善・改質
7. 国際交流の重視と国際性の涵養
8. 進路指導（キャリアデザイン支援）体制の充実
9. 課外活動やボランティア活動の奨励
10. 教育・研究・社会交流（貢献）の有機的連携

大阪工業大学学則（抜粋）

第1条（目的）

本大学は、専門学術を教育研究し、深い教養と実践的応用力を身につけ、時代の要請に対応して国際的視野から知的・技術的創造を実現でき、確かな人間力を備え常に向上を心がける専門職業人を養成して、社会の発展に貢献するとともに、学術と文化の向上をはかることを目的とする。

第3条の2（教育研究上の目的）

工学部は、地球環境に配慮しながら、専門技術の基礎ならびに人間力を基盤として幅広い協働によるものづくりを实践でき、常に向上を目指す技術者を育成することを目的とする。

ロボティクス&デザイン工学部は、工学的な知識・技術を人間中心の視点から活用し、持続可能で豊かな社会の形成や発展に貢献できる専門職業人を育成することを目的とする。

情報科学部は、情報通信に関する知識や技術を学び、広い視野と倫理観を持って社会や産業活動の情報化とその発展に貢献する健全な技術者あるいは専門職業人を育成することを目的とする。

知的財産学部は、健全な人間性、知的能力および国際感覚を有することにより、21世紀の産業社会において活躍する者にして、知的財産の保護と活用を推進することに貢献できる職業人を養成することを目的とする。